

Title	ヘリウム液化装置更新期間中の吹田分室業務について
Author(s)	低温センター
Citation	大阪大学低温センターだより. 92 P.26-P.27
Issue Date	1995-10
Text Version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/11094/5341
DOI	
rights	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/>

ヘリウム液化装置更新期間中の 吹田分室業務について

低温センター

前号でもご案内致しましたように、本年度吹田分室のヘリウム液化装置の更新が行われます。現在、関係者間で工事の詳細を詰めている段階ですが、およその装置更新の日程は下表に示すとおりとなります。約6ヶ月にわたる工事期間中、吹田分室利用者並びに周辺各学科の皆さまには大変ご迷惑をお掛けすることになりますが、ご理解の上、ご協力をよろしくお願い致します。

表 液体ヘリウム液化装置更新の日程（予定）

平成7年 10月下旬～	<p>既存機器撤去</p> <p>現有の液化装置、圧縮機、各種配管類の撤去を行います。原則として、大型ヘリウム液化装置内の全ての物品は撤去もしくは移動します。関連して吹田分室内にある不要物品の廃棄処分を順次行います。</p>
11月上旬～	<p>建屋改修工事</p> <p>大型ヘリウム液化室および圧縮機室の改修、出入口の拡張、装置用基礎の設置などを行います。本工事期間中は大型ヘリウム液化室・圧縮機室への立入りが一切できません。</p>
平成8年 2月上旬～	<p>機器の搬入・据付</p> <p>新設する液化装置、圧縮機、液体窒素タンク等の搬入・据付、各種配管の設置などを行います。</p>
3月下旬	機器の引渡し

■吹田分室の業務

本更新工事により吹田分室において変更を予定している業務は以下の通りです。

- 液体ヘリウム小口供給

既設設備撤去時から新液化装置稼働開始時まで休止し、大口供給に全て振り替えます。

- 液体ヘリウム大口供給

現有設備が稼働可能な間は従来通り供給を行います。現有設備が使用できなくなった時点で、液体ヘリウムは業者から購入し、低温センターを経由して供給を行います。なお、回収系統も使用できなくなりますので、ヘリウム回収も中止します。

- 液体窒素供給

現状の通り供給します。ただし、新システムに移行後は屋外に設置される液体窒素タンクから供給を行います。

■吹田分室の出入口の変更

工事の開始時から吹田分室の玄関と大型ヘリウム液化機室が使用できなくなります。このため吹田分

室への出入口を変更致します。

- ヘリウム供給
吹田分室西側（液体窒素供給場所の隣）にスロープを設置しますので、ここを通してコンテナの引き渡し、受け取りを行います。
- 液体窒素
従来通りの場所で供給します。
- 管理室
液体窒素供給場所から管理室への扉をロックして下さい。
- 共同利用実験室
夜間用出入口を利用して下さい。

この件に関するお問い合わせ先：

低温センター吹田分室

電話：内線 3965（学外からは 06-879-7985）

ファクシミリ：内線 7986（学外からは 06-879-7986）

電子メール：liquefier@ltc.osaka-u.ac.jp

液化装置更新に関しましては、ODINS（インターネット）上に開設しているWWWホームページ（<http://www/ltc.osaka-u.ac.jp/suita/liquefier/>）において情報提供を行っています。最新の詳しい情報はこちらをご覧ください。

保安組織表

低温センターで寒剤液化・供給業務を行なっていくにあたっては、高圧ガス取締法により、以下の保安管理のための組織を設けることが義務づけられています。

	吹田分室	豊中分室
保安総括者	鈴木 胖（工学部長）	榊田 孝司（理学部長）
〃 代理	濱口 智尋（センター長）	都 福仁（副センター長）
保安技術管理者	百瀬 英毅	徂 徠 道夫
〃 代理	岡田 東一	松尾 隆祐
保安係員	脇坂 義美	鷹岡 貞夫
代理	牧山 博美	石塚 守

（平成7年10月現在）